

議題 2. オレンジゆずるバスの評価について

(1) 評価のための各種調査

表. 評価のための各種調査

調査の種類	調査の目的	調査項目	評価指標 〈見直し基準〉
市民 アンケート調査 【調査票送付日】 ・ 10月10日（金） 【配布・回収状況】 ・ 配布数 2,000 件 ・ 回収数 950 件 （回収率 47.5%）	・ 新たなバスの利用状況や認知状況、利用促進策に対する市民の反応を把握するとともに、今後の利用動向や需要（ニーズ）を分析する	・ 利用経験 ・ 利用頻度 ・ 新たなバスに対する認知 ・ 公共交通に対する評価 ほか	利用率 認知率
バス利用者 アンケート調査 【調査票配布日】 ・ 10月16日（木） ・ 10月19日（日） 【配布・回収状況】 ・ 平日配布数 1,040 件 ・ 平日回収数 581 件 （平日回収率 55.9%） ・ 休日配布数 160 件 ・ 休日回収数 78 件 （休日回収率 48.8%）	・ バス利用者に対して、利用状況の把握を行うとともに、今後の利用動向や需要（ニーズ）を分析する	・ 利用目的（目的地） ・ 利用頻度 ・ 精算方法 ・ 属性（年齢、性別、住所） ・ 改善や充実の要望 ほか	利用率 認知率 〈運行サービス〉 〈運賃等〉
バス乗降調査 【調査日】 ・ 10月24日（金） ・ 10月26日（日） 【配布・回収状況】 ・ 平日配布数 1,401 件 ・ 平日回収数 1,400 件 （平日回収率 99.9%） ・ 休日配布数 309 件 ・ 休日回収数 309 件 （休日回収率 100.0%）	・ ルート、便、地区の実際の利用実態を把握し、運行の見直しを行う判断基準に対して客観的な評価を行う	・ 乗車区間（系統、停留所） ・ 乗車便（時間） ・ 利用目的（目的地） ・ 利用頻度 ・ 精算方法 ・ 属性（年齢、性別、住所） ・ 乗り継ぎの有無 ほか	利用率 〈運行サービス〉 〈運賃等〉
バス事業収入調査	・ ルートごとの運賃収入を把握し、運賃体系の見直しの有無を判断する	売り上げ調査（日別、券種別）	収支率

資料：箕面市地域公共交通総合連携計画（平成 22 年 3 月）

(2) オレンジゆずるバスの評価について

運行評価は、評価指標（認知率、利用率、収支率）が目標値に到達しているかについて、調査結果などから評価を実施する。

オレンジゆずるバス運行の評価指標を以下に示す。

表. オレンジゆずるバス運行の評価指標

評価指標	目標値	指標設定の意味
認知率	1年目 50%以上 3年目以降 80%以上	<ul style="list-style-type: none">・公共交通を利用するための情報が十分かどうかを把握する。・情報提供のあり方などを評価する場合に用いる。
利用率	40%以上	<ul style="list-style-type: none">・地区における公共交通のサービスのあり方を数値として把握する。・利用促進策の取り組み成果などを評価する場合に用いる。
収支率	50%以上	<ul style="list-style-type: none">・運行の見直し等を行うための最も基本的な指標。・採算性・効率性とサービス提供の妥当性などを数値として把握する・運行計画（運行日、便数、運賃など）を評価する場合に用いる。

資料：箕面市地域公共交通総合連携計画（平成22年3月）

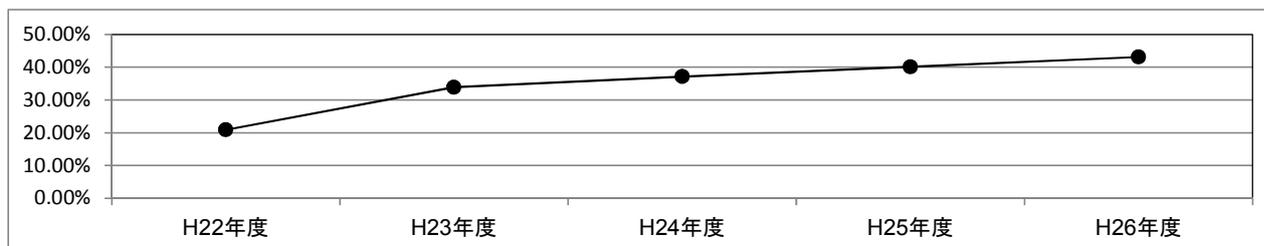
①認知率

目標値	目標達成度					
	項目	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
1年目 : 50%以上	運賃	79.3%	78.9%	75.6%	76.3%	70.7%
	最寄のバス停	68.8%	69.7%	69.0%	【平日】 69.9%	【平日】 71.3%
【休日】 40.7%					【休日】 44.6%	
3年目以降 : 80%以上	ルート・行き先	45.7%	46.2%	44.6%	【平日】 44.0%	【平日】 44.0%
					【休日】 25.0%	【休日】 26.3%
	誰でも、どんな目的でも乗れる	79.8%	82.2%	82.9%	85.3%	86.7%
評 価						
<ul style="list-style-type: none"> “運賃”の認知率は、70.7%であり、昨年度より認知度が下がり、目標値にも達していない。認知率が下がった理由としては、消費税増税に伴う運賃改正によるものと思われる。 “最寄のバス停”については、平日は、71.3%、休日は44.6%となっており、昨年度より認知度は上がっている。 “ルート・行き先”についての認知率は、平日は、昨年度と変わらず44.0%であり、休日は、26.3%と微増となっている。どちらも1年目の目標値50%以上に達していない。 “誰でも、どんな目的でも乗れる”の認知率は86.7%であり、目標値を達成している。 						

②利用率

目標値	目標達成度						
	項目	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	
40%以上	利用率	20.9%	33.9%	37.1%	40.0%	43.1%	
	内訳	定期利用者	3.1%	5.2%	5.4%	9.1%	9.4%
		不定期利用者	17.8%	28.7%	31.7%	30.9%	33.7%
評 価							
<ul style="list-style-type: none"> 今回の市民アンケート調査結果による利用率は43.1%であり、昨年度に引き続き、目標値40%以上を達成している。 							

【年度別利用率】



③収支率

目標値	目標達成度	
50%以上	【平日運行】 49.5%	【休日運行】 22.9%
	5月 (20～31日) : 47.0%	5月 (20～31日) : 25.0%
	6月 : 49.4%	6月 : 22.9%
	7月 : 50.5%	7月 : 24.0%
	8月 : 47.5%	8月 : 21.0%
	9月 : 52.7%	9月 : 25.2%
	10月 : 49.0%	10月 : 19.5%

評 価

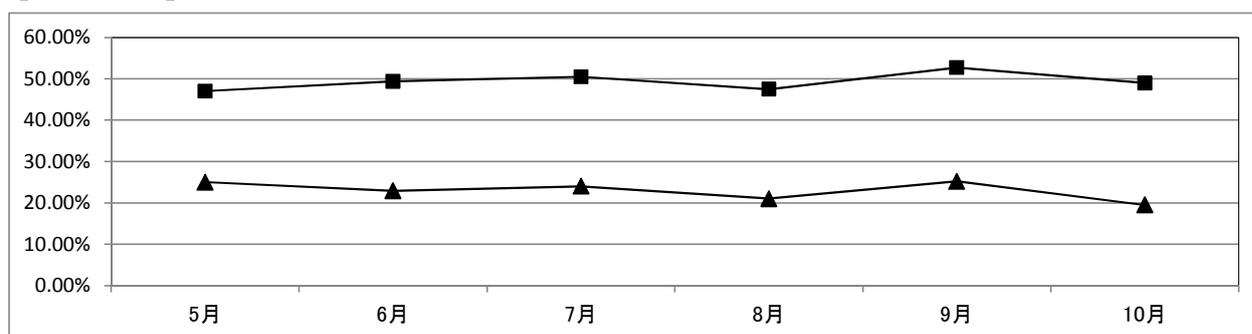
【平日運行について】

- ・平日運行の収支率は49.5%であり、目標値に近づいてきている。7月と9月については目標値の50%を達成している。

【休日運行について】

- ・平日運行と比べ、休日運行の収支率は22.9%と低く、目標値にはほど遠い状況にある。
- ・月別では9月の収支率25.2%が最も高い。

【月別収支率】



④総括

- ・認知率については、“誰でも、どんな目的でも乗れる”が目標値を達成しているが、運賃、最寄のバス停、ルート・行き先の認知率は目標値に達していない。
- ・利用率については、昨年度に引き続き目標値40%以上を達成した。
- ・5月12日以降における平日の収支率は、49.5%であり、目標値に近づいてきている。しかし、休日の収支率は22.9%と低い。このため、再度、休日の廃止又は持続可能な運行内容（運行サービス・費用負担）への見直しが必要と考える。